

## 別記 1

### 調査書の作成について

中学校長は、調査書の作成を行うに当たっては、所属教員をもって調査書作成委員会を組織し、その審議を経て、特に厳正を期するものとする。

#### 第1 作成に当たっての注意

- 1 鮮明に記入する。なお、必要に応じてゴム印、パーソナルコンピュータ等を用いてもよい。
- 2 記入する数字は、すべて算用数字を用いる。ただし、現住所については、漢数字を用いてもよい。
- 3 誤記等の訂正をする際は、2本線を引いて訂正し、中学校長の印（私印）を押印する。
- 4 提出する調査書は、原本を複写したものに、中学校長の職印を押印したものでよい。
- 5 生徒氏名の表記は、入学願書の文字と一致するよう配慮する。

#### 第2 様式

県教育委員会の定める様式（様式3-1、29ページ）で作成する。

なお、中学校卒業後5年を経過した者については、卒業証明書及び住民票の提出をもって、調査書の提出に代えることができることとする。

#### 第3 記入上の注意

記載事項、記載要領等は、中学校生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に準ずるものであるが、次の点に留意して記入する。

- 平成26年3月中学校卒業見込みの者等について、留意点を示す。なお、平成21年3月以降に中学校を卒業した者等については、指導要録に準ずるものとする。

##### 1 「成績一覧表番号」

成績一覧表において当該生徒につけた番号を記入する。なお、番号のない者（平成21年3月以降に中学校を卒業した者等及び在外教育施設卒業見込みの者等）は斜線とする。

##### 2 「受検番号」

空欄とする。

##### 3 「1 学籍の記録」

- (1) 性別については、該当する性別を記入する。
- (2) 現住所については、本県に居住する場合は、郡・市名から記入する。
- (3) 卒業見込・卒業については、該当事項を○で囲むか、非該当事項に2本線を引く。

##### 4 「2 各教科の学習の記録」

- (1) 必修教科及び共通履修としての外国語については、次のとおりとする。

ア 各教科の観点ア、イ、ウ、エ及びオについては、次の表の観点に対応する。

なお、平成25年度に中学校の第3学年に在籍している生徒の、第2、3学年における各教科の観点については、カッコ内に示したものとする。

教科	観 点
国語	ア 国語への関心・意欲・態度
	イ 話す・聞く能力
	ウ 書く能力
	エ 読む能力
	オ 言語についての知識・理解・技能
社会	ア 社会的事象への関心・意欲・態度
	イ 社会的な思考・判断（社会的な思考・判断・表現）
	ウ 資料活用 of 技能・表現（資料活用 of 技能）
	エ 社会的事象についての知識・理解
数学	ア 数学への関心・意欲・態度
	イ 数学的な見方や考え方
	ウ 数学的な表現・処理（数学的な技能）
	エ 数量、図形などについての知識・理解（数量や図形などについての知識・理解）
理科	ア 自然事象への関心・意欲・態度
	イ 科学的な思考（科学的な思考・表現）
	ウ 観察・実験の技能・表現（観察・実験の技能）
	エ 自然事象についての知識・理解

教科	観 点
外国語 (英語)	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度
	イ 表現の能力(外国語表現の能力)
	ウ 理解の能力(外国語理解の能力)
	エ 言語や文化についての知識・理解
音楽	ア 音楽への関心・意欲・態度
	イ 音楽的な感受や表現の工夫(音楽表現の創意工夫)
	ウ 表現の技能(音楽表現の技能)
	エ 鑑賞の能力
美術	ア 美術への関心・意欲・態度
	イ 発想や構想の能力
	ウ 創造的な技能
	エ 鑑賞の能力
保健 体育	ア 運動や健康・安全への関心・意欲・態度
	イ 運動や健康・安全についての思考・判断
	ウ 運動の技能
	エ 運動や健康・安全についての知識・理解
技術 ・ 家庭	ア 生活や技術への関心・意欲・態度
	イ 生活を工夫し創造する能力
	ウ 生活の技能
	エ 生活や技術についての知識・理解

- イ 第1学年及び第2学年の観点別学習状況及び評定は、指導要録に記載されたものを転記する。ただし、観点別学習状況の転記に当たっては、Aを○とし、B及びCは空欄とする。
- ウ 第3学年の観点別学習状況は、12月末までの状況を総合して評価したものを記入する。記入の方法は、前項に準ずる。
- エ 第3学年の評定は、12月末までの状況を総合して評定したものを記入する。  
なお、すべての生徒について5段階による評定を記入するものとし、上位より「5」「4」「3」「2」「1」とする。
- オ 特別支援学級に在籍する生徒の第3学年の観点別学習状況及び評定は、当該生徒の教育課程及びその評価規準によって評価したものを記入する。また、その際「7 参考となる諸事項等の記録」に、特別の教育課程である旨を記載する。
- (2) 選択教科については、次のとおりとする。
- ア 第1学年及び第2学年については、指導要録の記載に準ずるものとし、観点別学習状況は、特にすぐれた点を記入する。
- イ 第3学年については、12月末までの状況を総合して評定したものを前項に準じて記入し、観点別学習状況は、特にすぐれた点を記入する。なお、前期と後期に分けて履修している場合は、前期の状況のみを記入することとし、履修学年の欄に「3年前期」と記入した上で、前項に準じて記入する。
- ウ 評定は3段階とし、「十分満足できると判断されたもの」をA、「おおむね満足できると判断されたもの」をB、「努力を要すると判断されたもの」をCとする。
- 5 「3 総合的な学習の時間の記録」  
第1～3学年における「総合的な学習の時間」について、主な学習活動及び評価の観点等を踏まえて、生徒の学習状況の特徴等を記入する。
- 6 「4 特別活動等の記録」  
(1) 学級活動における係名、生徒会活動における役員名、学校行事における役割等を記入する。  
(2) 「その他の活動」については、特記すべきものがあれば具体的に記入する。  
ア 郡市単位以上の展覧会、各種の大会及び他団体(郡市単位以上)の主催する行事等における活動(入賞、その他)  
イ その他学校内外における生徒の活動等(表彰、部活動、ボランティア活動、その他)
- 7 「5 行動の記録」  
第1学年及び第2学年は指導要録に記載されたものを転記する。第3学年は指導要録の記載に準ずるものとし、十分満足できる状況にあると判断される場合には○印を記入し、他の場合は空欄とする。
- 8 「6 出欠の記録」  
指導要録に準じて記入する。ただし、卒業見込みの者の第3学年の記録は、12月末日までのものを記入する。

9 「7 参考となる諸事項等の記録」

次のうち特記すべき事項等があれば記入する。

- ・ 各教科や総合的な学習の時間における学習状況等
- ・ 特別活動等における活動状況等
- ・ 学校生活全体にわたって見られる特徴及び性格等
- ・ 「1 学籍の記録」、「2 各教科の学習の記録」、「3 総合的な学習の時間の記録」、「4 特別活動等の記録」、「5 行動の記録」及び「6 出欠の記録」以外の事項
- ・ 「1 学籍の記録」及び「6 出欠の記録」を補足する事項